

## 三井 E&S が 25/3 期業績予想の修正を発表 – 格付にポジティブ

以下は、株式会社三井 E&S（証券コード：7003）が 25/3 期業績予想の修正を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は 22 日、25/3 期業績予想の修正を発表した。経常利益は 180 億円（前期比 13.1%減）、最終利益は 350 億円（同 39.7%増）の計画である。当社は 14 日に発表した三井海洋開発の株式売却の合意に係る影響額を合理的に算出することが難しいため経常利益と最終利益の予想を未定としていたが、22 日に売価額等が決定したため業績予想の算定が可能になったとしている。株式売却による関係会社株式売却益約 200 億円（オーバーアロットメント分を含めない）が特別利益として計上される見込みであり、業績予想にはオーバーアロットメント分も含めて反映されている。売上高および営業利益の予想は変更ない。なお、売却により得られる資金 500 億円強については、投資資金、有利子負債の圧縮、A 種優先株式の早期償還、株主還元などに充当される予定である。
- (2) 特別利益の計上に伴う自己資本の積み増し、売却資金を原資とした有利子負債の圧縮、A 種優先株式の償還などにより、財務改善のペースが早まる見通しである。また、株式売却に伴い三井海洋開発の発行済株式総数に対する当社の保有株式数の割合は現在の 40%強から 10%未満となる見込みである。これにより同社は持分法適用関連会社から外れることになるが、同社は 19/12 期から 21/12 期まで 3 期連続で最終赤字を計上するなど、大きな業績変動を伴っていた。このため本件株式売却は、当社の収益基盤の安定化につながると考えられる。こうした点を踏まえると、今般の株式売却は格付にポジティブな影響を及ぼすものと考えられる。今後の業績の方向性や財務改善の度合いなどを確認し格付に反映していく。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

### 【参考】

発行体：株式会社三井 E&S

長期発行体格付：BB+

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル